
(参考) 指標の候補一覧

- ・安全・安心なサービスの提供に関する指標案
- ・環境問題への対応に関する指標案
- ・賑わいのある港湾空間の形成に関わる指標案

【安全・安心なサービスの提供に関する指標案】

指標の候補一覧

目的	番号	指標(案)	集計単位	特長など (…特長等、…課題等)	アウトカム性 【アウトカム(成果)を直接的に表すことができる指標であるか?】	データ収集性 【時間と費用をあまりかけずに収集できるデータ(既存のデータ等)に基づいた指標であるか?】	継続性 【中長期にわたって継続的に計測できる指標(施策)であるか?】	客観性 【測定者の裁量が入る余地のない指標であるか?】	加算性 【港湾ごと、バースごとなどのミクロの積み上げができる指標であるか?】	総合評価
安全・安心なサービスの提供	1	港湾における緊急物資供給可能人口カバー率 【例】A港 50%(H15) 60%(H16)	・港湾単位などで集計	災害時における暮らしや産業活動の維持レベルを表す指標である。耐震強化岸壁等による潜在的な効果が測定できる。国民にも分かりやすい指標。 絶対値ではないので、どの程度の人口(何人)がカバーされているかについては不明。						
	2	港湾による緊急物資供給可能人口 【例】A港 10万人(H15) 11万人(H16)	・港湾単位などで集計	災害時における暮らしや産業活動の維持レベルを表す指標である。耐震強化岸壁等による潜在的な効果が測定できる。絶対値なので、どの程度の人口(何人)がカバーされているのかについても把握可。 何人であれば良いか等の適正レベルがわかり難い指標である。						
	3	緊急物資の海上輸送ルート耐震化率 【例】A港 50%(H15) 60%(H16)	・港湾単位などで集計	耐震バースの整備による安心度といった効果を表すことができる。特に、阪神淡路大震災以後、国民の関心が高いトピックである。 直感的にはわかり難い指標である。						
	4	周辺住民の緊急物資供給に対する安心度 【例】A港 3.0点(H15) 3.5点(H16)	・港湾単位などで集計	耐震バースの整備による安心度といった効果を表すことができる。特に、阪神淡路大震災以後、国民の関心が高いトピックである。 住民が日頃馴染みのない安心度の概念を理解し適切に評価できるか疑問。調査方法によってはバイアスの恐れあり。	×	×		×		×
	5	防災拠点緑地における緊急物資の荷捌可能量 【例】A港 3,100t/日(H15) 4,400t/日(H16)	・港湾単位などで集計	災害時における暮らしや産業活動の維持レベルを表す指標である。防災拠点緑地による潜在的な効果が測定できる。 適正ラインが不明確。直感的にはわかり難い指標。	×	×	×			×
	6	港湾におけるテロ発生回数 【例】A港 0回(H15) 0回(H16)	・港湾単位などで集計	国際船舶・港湾保安法に対応した港湾施設を整備することにより安全性が向上した成果(アウトカム)を表す指標。特に、アメリカ同時多発テロ以降、国際的な関心事である。 常に「0回」を目標とする指標。テロなどの発生率は非常に低いので長期にわたり指標値が変化しない恐れあり。						
	7	保安基準を達成した施設の割合 【例】A港 100%(H15) 100%(H16)	・港湾単位などで集計	国際船舶・港湾保安法に対応した港湾施設を整備することにより安全性が向上した成果(アウトカム)を表す指標。特に、アメリカ同時多発テロ以降、国際的な関心事である。 常に「100%」を目標とする指標のため、値に変化が見られない懸念あり。	×					×
	8	船舶が安全に着岸できる岸壁の割合 【例】A港 50%(H15) 60%(H16)	・港湾単位などで集計	防波堤の整備による安全性向上などを表すことができる。離島など住民生活に定期船の存在が不可欠な地域においては関心が高いテーマ。 静穏度が確保されても長周期波等のために着岸が困難な状況を表現できない。						
	9	港湾におけるプレジャーボートの適正な係留・保管率 【例】A港 50%(H15) 60%(H16)	・港湾単位などで集計	港内の安全な船舶の航行が実現しているかを表すことができる。 全国調査が5年に1回しか実施されない。						
	10	港湾区域内に放置された船舶の減少数 【例】A港 基準(H15) 1,000隻(H16)	・港湾単位などで集計	港内の安全な船舶の航行が実現しているかを表すことができる。 全国調査が5年に1回しか実施されない。						

【環境問題への対応に関する指標案】

指標の候補一覧

目的	番号	指標(案)	集計単位	特長など (…特長等、…課題等)	アウトカム性 【アウトカム(成果)を直接的に表すことができる指標であるか?】	データ収集性 【時間と費用をあまりかけずに収集できるデータ(既存のデータ等)に基づいた指標であるか?】	継続性 【中長期にわたって継続的に計測できる指標(施策)であるか?】	客観性 【測定者の裁量が入る余地のない指標であるか?】	加算性 【港湾ごと、バースごとのミクロの積み上げができる指標であるか?】	総合評価
環境問題への対応	1	港湾におけるCO2及びNOxの削減量 【例】A港 4,800t/年(H15) 5,100t/年(H16)	・港湾単位などで集計	モーダルシフトなどによる環境負荷軽減の度合いを表すことができる。京都議定書以後、国民の関心が高いトピックなので分かりやすい指標。CO2やNOxによる環境問題の要因が多岐にわたるため、港湾行政によるコントロール性が低い。						
	2	沖待ち解消によるCO2排出削減量(率) 【例】A港 3,000トン(H15) 4,000トン(H16)	・港湾単位などで集計	沖待ち解消によるCO2排出削減等の環境負荷低減の度合いを表すことができる。船舶ごとの沖待ち時間を正確に把握することが困難。						
	3	陸上電源供給によるCO2(SO2,NO2)排出削減量(率) 【例】A港 4,800トン(H15) 5,100トン(H16)	・港湾単位などで集計	在港船舶のアイドリングストップなど環境への配慮が成されているかを表すことができる。寄港する船舶が非常に少ない港湾にも一律に陸上給電施設が必要なのか検討が必要。						
	4	係留船舶へ陸上から給電可能な岸壁の割合(or数量) 【例】A港 30%(H15) 40%(H16)	・港湾単位などで集計	在港船舶のアイドリングストップなど環境への配慮が成されているかを表すことができる。寄港船舶が少なくアイドリングが問題になっていない港湾も含まれる。						
	5	港湾区域の浮遊ゴミ、油の回収量 【例】A港 700t(H15) 750t(H16)	・港湾単位などで集計	閉鎖性海域における良好な海洋環境の実現度を表すことができる。すでに湾内がきれいで浮遊ゴミや油を回収する必要がない港湾には不向き。						
	7	可能な限り減量化した上で、海面処分場でも受入が必要な廃棄物の受入【例】A港 100%(H15) 100%(H16)	・港湾単位などで集計	内陸部の良好な生活環境の形成に必要な海面処分場の受入能力を表す指標。常に100%の指標。						
	8	環境配慮型港湾施設の延長(率) 【例】A港 2km(H15) 3km(H16)	・港湾単位などで集計	環境配慮型港湾施設により良好な湾内の海洋環境の実現度を現すことができる。実際に環境負荷の低減に効果があったのかは不明。アウトプットに近い指標。	×					×
	9	シーブルー事業により新たに創出される良好な水際線の長さ 【例】A港 1,000m(H15) 2,000m(H16)	・港湾単位などで集計	シーブルー事業における環境改善の度合いを的確に表現することができる。シーブルー事業を実施している港湾のみ対象。国民にとって直感的にはわかり難い。	×				×	×
	10	モーダルシフト化率 【例】A港 50%(H15) 55%(H16)	・港湾単位などで集計	モーダルシフトによる環境負荷の低減の度合いを表すことができる。港湾ごとにモーダルシフト化率を把握することが困難。					×	×
	11	リサイクルポートにおける循環資源の取扱量 【例】A港 5,500FT(H15) 5,500FT(H16)	・港湾単位などで集計	リサイクルポートが循環型社会の形成にどれだけ寄与しているかを表す指標。背後のリサイクル企業の動向に大きく左右される。						
	12	リサイクルポートにおけるリサイクル企業数 【例】A港 10社(H15) 15社(H16)	・港湾単位などで集計	リサイクルポートが循環型社会の形成にどれだけ寄与しているかを表す指標。立地したリサイクル企業の品目や規模、経営の健全性等については不明。						
	13	リサイクルポートにおけるリサイクル施設立地数 【例】A港 10箇所(H15) 15箇所(H16)	・港湾単位などで集計	リサイクルポートが循環型社会の形成にどれだけ寄与しているかを表す指標。立地したリサイクル企業の品目や規模、経営の健全性等については不明。国民にとって直感的には分かり難い。						
	14	リサイクルポートにおけるリサイクル企業立地面積 【例】A港 50ha(H15) 60ha(H16)	・港湾単位などで集計	リサイクルポートが循環型社会の形成にどれだけ寄与しているかを表す指標。リサイクルポート指定港のみが対象。リサイクルの品目や処理能力等については不明。国民にとって直感的には分かり難い。						
	15	リサイクルポートにおけるリサイクル施設立地面積 【例】A港 50ha(H15) 60ha(H16)	・港湾単位などで集計	リサイクルポートが循環型社会の形成にどれだけ寄与しているかを表す指標。リサイクルポート指定港のみが対象。リサイクルの品目や処理能力等については不明。国民にとって直感的には分かり難い。						
	16	DID地区の港湾関連車両の交通量 【例】A港 1,000台/日(H15) 500台/日(H16)	・港湾単位などで集計	港湾関連車両が都市部を通過する状況を表し、住民生活環境などに及ぼす影響を表現できる指標である。特定の大規模港湾における問題であると想定できる。						

【賑わいのある港湾空間の形成に関わる指標案】

指標の候補一覧

目的	番号	指標(案)	集計単位	特長など (…特長等、…課題等)	アウトカム性 【アウトカム(成果)を直接的に表すことができる指標であるか?】	データ収集性 【時間と費用をあまりかけずに収集できるデータ(既存のデータ等)に基づいた指標であるか?】	継続性 【中長期にわたって継続的に計測できる指標(施策)であるか?】	客観性 【測定者の裁量が入る余地のない指標であるか?】	加算性 【港湾ごと、バースごとなどのミクロの積み上げができる指標であるか?】	総合評価
賑わいのある港湾空間の形成	1	既存施設を活用したイベントへの参加人数 【例】A港 10,000人/年(H15) 15,000人/年(H16)	・港湾単位などで集計	港の賑わいなどを表すことができる。背後人口の規模によって大きな差がある。						
	2	港湾関連施設を活用したイベント回数 【例】A港 7回(H15) 10回(H16)	・港湾単位などで集計	港湾関連施設を活用した港の賑わいなどを表すことができる。イベントへの参加人数については不明。						
	3	海やみなとの活動に市民が参加できる機会	・港湾単位などで集計	海やみなとの賑わいなどを表すことができる。イベントへの参加人数については不明。						
	4	千人/年以上が来訪する緑地数 【例】A港 2箇所(H15) 3箇所(H16)	・港湾単位などで集計	人々に快適で潤いのある港湾空間が実現されているかを表すことができる。背後圏人口に大きく左右される。緑地への来訪人数の把握が困難。			×			×
	5	千人/年以上が来訪する港湾関連施設数<博物館や交流施設も含む> 【例】A港 3施設(H15) 5施設(H16)	・港湾単位などで集計	人々に快適で潤いのある港湾空間が実現されているかを表すことができる。背後圏人口に大きく左右される。						
	7	クルーズ船の寄港回数 【例】A港 10回/年(H15) 12回/年(H16)	・港湾単位などで集計	国際旅客船が寄港することによる港の賑わいなどを表すことができる。背後地域の観光資源等の影響が強い。						
	8	外航クルーズ船寄港数 【例】A港 10回/年(H15) 20回/年(H16)	・港湾単位などで集計	旅客船が寄港することによる港の賑わいなどを表すことができる。背後地域の観光資源等の影響が強い。						
	9	旅客船からの観光客上陸人口 【例】A港 1,000人/年(H15) 1,500人/年(H16)	・港湾単位などで集計	旅客船が寄港することによる港の賑わいなどを表すことができる。上陸人数のカウントが困難か。						
	10	海やみなとで活動するNPO等の団体数	・港湾単位などで集計	みなとまちづくりなど市民参加による港の賑わいなどを表すことができる。直感的にはわかり難い。						
	11	市民・NPOが支える港湾関連の施設数 【例】A港 3施設(H15) 4施設(H16)	・港湾単位などで集計	みなとまちづくりなど市民参加による港の賑わいなどを表すことができる。直感的にはわかり難い。						
	12	水際線の開放延長(率) 【例】A港 2km(H15) 2.5km(H16)	・港湾単位などで集計	人々に快適で潤いのある港湾空間が実現されているかを表すことができる。港湾ごとに適正な開放延長(率)を設定することが困難。			×			×
	13	海やみなとに関する情報提供(国等の港湾関係HPのアクセス数)	・港湾単位などで集計	みなとまちづくりなど市民の関心を表すことができる。直感的にはわかり難い。						
	14	臨海部に立地する工場数	・港湾単位などで集計	地域住民の暮らしの基盤となる雇用規模を表すことができる。直感的にはわかり難い。						